



令和3年4月22日（木）
利根川水系渇水対策連絡協議会
（事務局：関東地方整備局）

記者発表資料

令和3（2021）年度
第1回利根川水系渇水対策連絡協議会
幹事会（春季定例会）の開催結果について

1. 開催状況

日 時：令和3年4月21日（水）

場 所 等：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面による議事
となりました。

協議会構成：国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、
農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、
群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構

協議会の目的：利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課 河川環境課長 建設専門官	あかみち しょうご 赤道 正悟（内線）3651 つちや ひでき 土屋 英樹（内線）3652	住所 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 電話 （代表） 048-601-3151
--	--	---

現状と今後の対応

(1) 現状

- 降水量（栗橋地点上流域平均）の状況
 - 1月の降水量は34mm（平均値に対する割合77%）
 - 2月の降水量は45mm（平均値に対する割合98%）
 - 3月の降水量は102mm（平均値に対する割合150%）
 - 4月19日0時までの累加降水量は56mm（4月の累加降水量の平均値は90mm）
- 積雪の状況（4月19日9時現在）
 - 藤原ダム地点 積雪深0cm（3月25日に消雪）
 - 尾瀬沼地点 積雪深14.9cm（平均値に対する割合80%）
- 利根川上流9ダムの貯水状況（4月19日0時現在）
 - 貯水量は同時期の平均貯水量を大きく上回っています。
 - 貯水量4億8,841万m³、貯水率89%、平均値に対する割合140%

(2) 今後の見通し

- 気象庁発表の気象情報（1ヶ月予報；4月17日から5月16日までの天候見通し）によると、向こう1ヶ月の降水量は「少ない」の確率が40%となっています。
- 利根川上流5ダム（矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、菌原）は、4月6日までに満水となっており、今後の降雨と融雪水により、満水に近い状態が続く見込みですが、今年は、ダムの水源地となる山岳部で融雪が例年よりも早く、ダムの補給が早まることも予測されます。
- また、今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流9ダムの貯水量が急激に減少することも考えられます。
- 鬼怒川上流4ダムの貯水量は同時期の平均貯水量を上回っておりますが、今後、下流の農業用水等水需要に対して必要な水量を確保するため、降雨状況によっては、貯水量が急激に減少することも考えられます。

(3) 今後の対応

- 利根川上流9ダム、鬼怒川上流4ダム等は、上流域の融雪状況や降雨、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮するとともに、既存施設を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
- ダム群の貯水量の状況や積雪及び降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- 利根川水系渇水対策連絡協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



矢木沢ダム上流域の状況（令和3年4月16日撮影）

令和3年4月21日

関東地方整備局

1. 利根川上流9ダム等の現状

(1) 利根川

1) 栗橋地点上流域平均降水量の状況（令和3年4月19日0時までの降水量）

《令和2年》

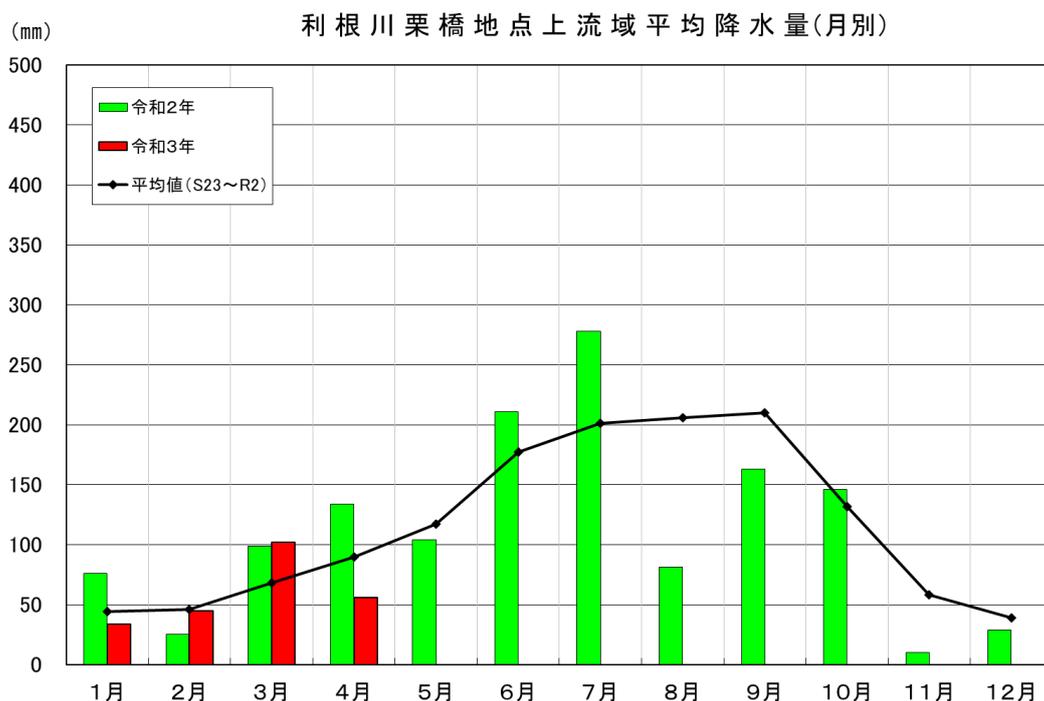
10月は平均値並みの降水量でしたが、11月が10mm（平均値58mm）、12月が29mm（平均値39mm）と平均値の2割～7割程度の降水量でした。

《令和3年》

1月は34mmと平均値を下回りましたが、2月は45mmと概ね平均値、3月は102mmと平均値を上回る降水量でした。

4月の降水量は、19日0時までの累加で56mmとなっています。（4月の降水量の平均値は90mm）

（図－1、表－1参照）



図－1 利根川栗橋地点上流域平均降水量（令和3年4月19日0時まで）

表－1 利根川栗橋地点上流域平均降水量（令和3年4月19日0時まで）

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	利根川夏渇水
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成24年	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395	〃
平成25年	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1,294	〃
平成28年	69	36	57	104	56	156	134	328	312	55	68	56	1,431	〃
令和元年	26	17	75	96	108	248	249	195	95	489	56	36	1,690	-
令和2年	76	25	99	134	104	211	278	81	163	146	10	29	1,356	-
平均値 (S23~R2)	44	46	68	90	117	177	201	206	210	132	58	39	1,388	-
令和3年	34	45	102	56	-	-	-	-	-	-	-	-	237	-
平均値に対する割合 (%)	77	98	150	62	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-

※ ■ : 利根川取水制限実施月（一時緩和含む） ※栗橋上流域面積: 8,588km²

2) 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の雪の状況 (令和2年～令和3年 冬期)

《積雪状況》

今シーズン当初の積雪は、昨シーズンの少雪から一変し平均を上回る状況でした。

特に降り出しの12月15日から16日にかけて冬型の気圧配置が強まり、利根川上流域では記録的な大雪となりました。藤原ダム地点では日降雪量が90cmを超え、積雪深は最大で185cmを記録しました。また、気象庁の積雪観測においても12月15日、藤原地点で117cm、みなかみ地点で80cmの記録的な大雪となりました。(気象庁HPより)

その後は平年並みで推移していましたが、現在は平均を下回る積雪深となっています。4月19日9時の積雪深は藤原ダム地点で0cm、尾瀬沼地点で149cmとなっています。

(表-2、図-2参照)

表-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深

観測所名	時 点	積雪深	今期最大積雪深
藤原ダム (標高667m)	令和3年4月19日9時現在	0cm	185cm(12月20日)
	S34～R2の4月第4半旬末平均值	2cm	
尾瀬沼 (標高1666m)	令和3年4月19日9時現在	149cm	280cm(2月11日)
	S30～R2の4月第4半旬末平均值	187cm	

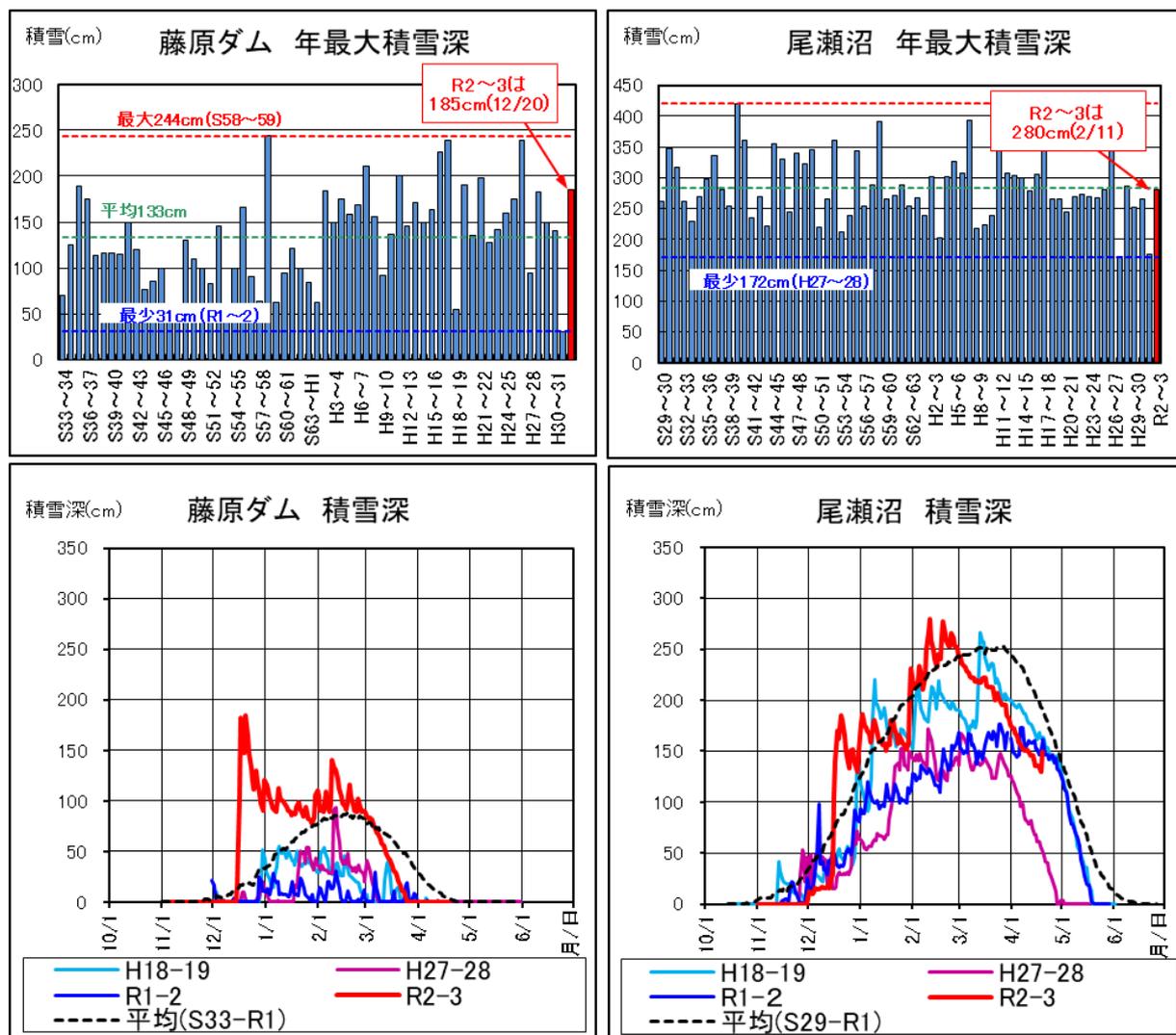


図-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深図

(令和3年4月19日9時現在)

※過去及び平均のデータは半旬末の値

3) 各観測所の積雪の状況

奥利根流域における積雪観測所の令和3年4月19日9時現在の積雪状況は、平均を下回る積雪深となっています。

(図-3、図-4 参照)

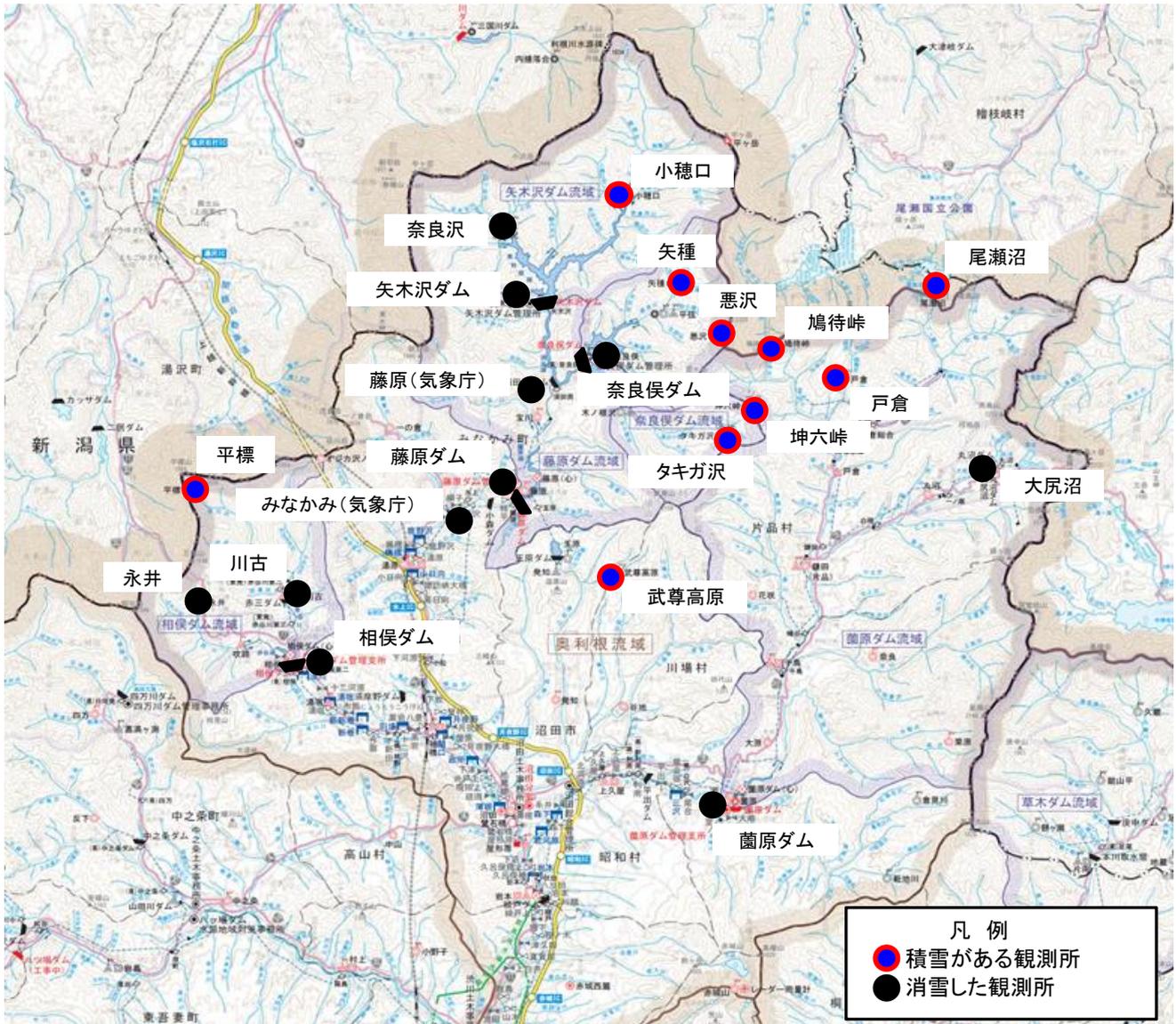


図-3 積雪観測所位置図

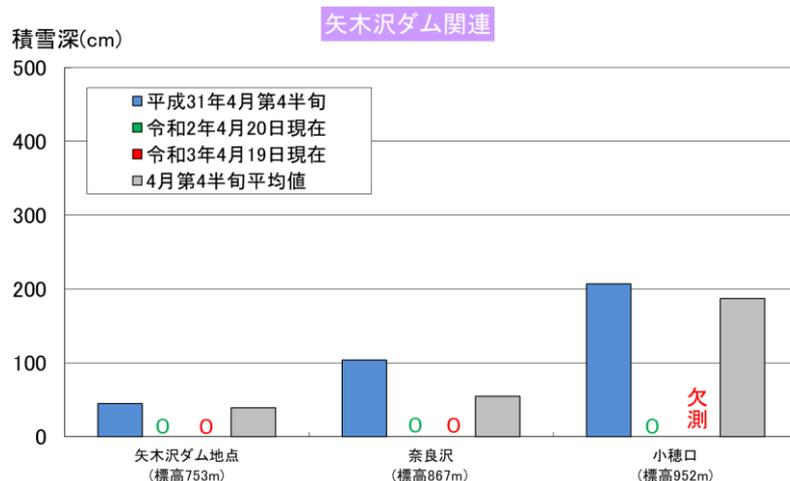


図-4 各観測所の積雪深状況 (1) (令和3年4月19日9時現在)

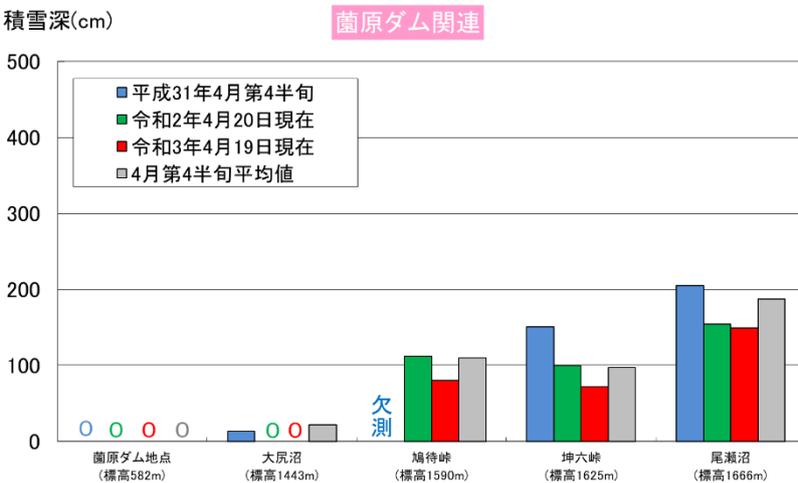
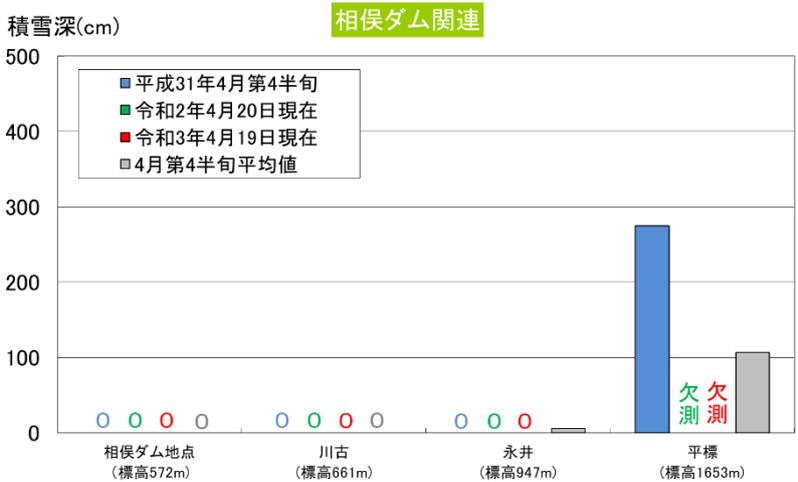
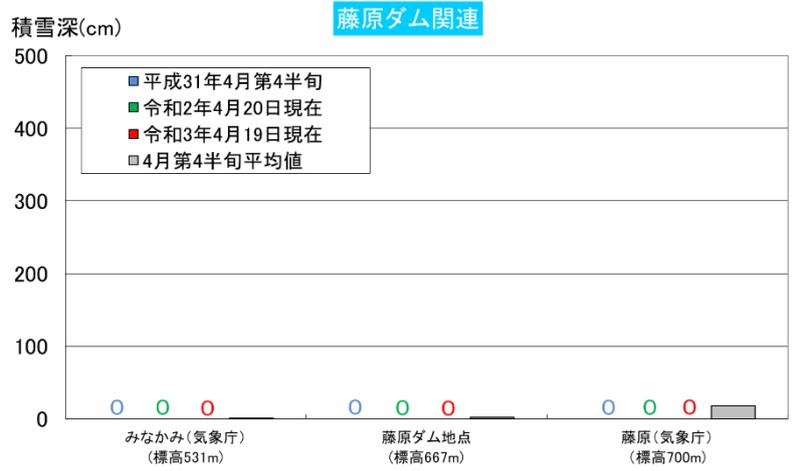
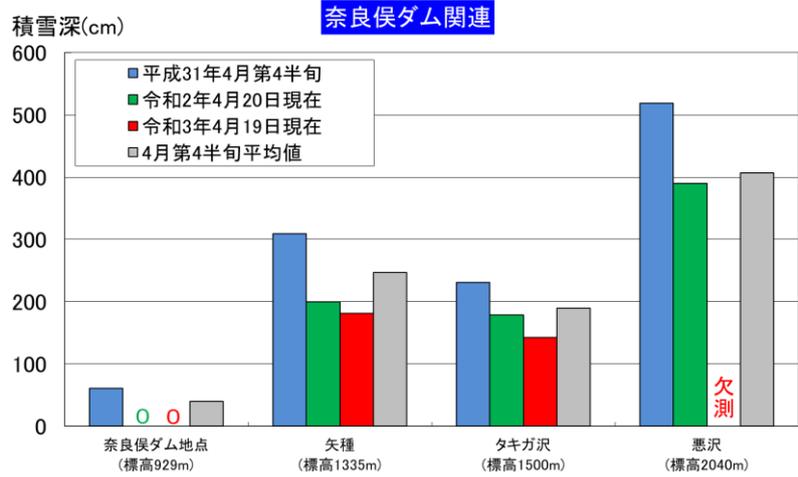


図-4 各観測所の積雪深状況 (2) (令和3年4月19日9時現在)

4) 利根川上流9ダムの貯水状況等（令和3年4月19日0時現在）

《令和2年》

台風14号等の降雨により利根川上流9ダム合計貯水量は、10月中旬以降、平均値を上回る4億m³以上の貯水量で推移しました。

《令和3年》

昨年11月下旬からのダム補給により貯水量が減少しましたが、北千葉導水路等の運用強化に努め、4月19日0時現在の利根川上流9ダムの合計貯水量は4億8,841万m³、貯水率は89%（貯水量の平均値（平成4年～令和元年）に対する割合は148%）となっています。（表-3、図-5参照）

なお、奥利根5ダムの合計貯水量は2億6,128万m³、貯水率は99%となっています。

表-3 利根川上流9ダム貯水量（令和3年4月19日0時現在）

ダム名	有効容量 (万m ³)	前日貯水量 万m ³	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
矢木沢ダム	11,550	11,464	11,410	99	54
奈良俣ダム	8,500	8,526	8,537	100	-11
藤原ダム	3,101	2,991	2,913	94	78
相俣ダム	2,000	1,981	1,971	99	10
菌原ダム	1,322	1,200	1,297	98	-97
5ダム合計	26,473	26,162	26,128	99	34
ハツ場ダム	9,000	7,554	7,940	88	-386
下久保ダム	12,000	8,115	8,112	68	3
草木ダム	5,050	4,912	4,924	98	-12
8ダム計	52,523	46,743	47,104	90	-361
渡良瀬貯水池	2,640	1,666	1,737	66	-71
9ダム合計	55,163	48,409	48,841	89	-432
8ダム合計の平均値 (平成4年～令和元年)			33,109	(平均値に対する割合148%)	

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

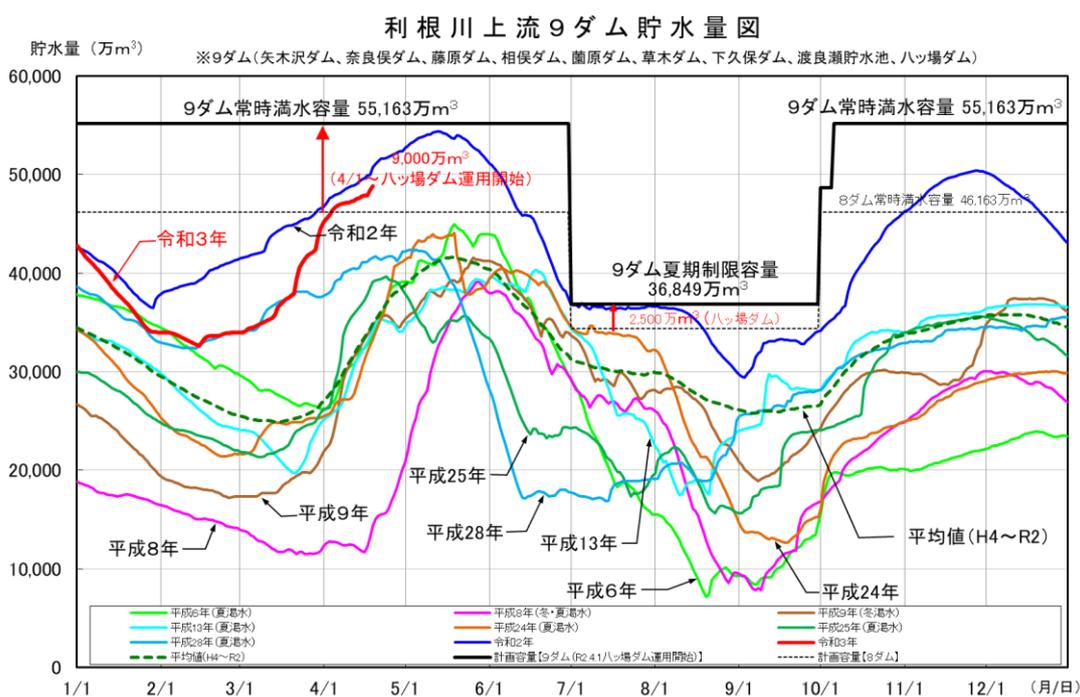


図-5 利根川上流9ダム貯水容量図（令和3年4月19日0時現在）

5) 北千葉導水路、三郷放水路の運用状況

北千葉導水路は1月15日18:00から5m³/sで運用開始。三郷放水路の運用はありませんでした。

3月は、3月2日(火)の降雨により3月3日(水)に17m³/sから11m³/sに減量。

3月9日(火)に17m³/sに増量しましたが、3月中旬以降の降雨により運用停止し、現在も停止中。

4月19日0時までの合計導水量は、約5,858万m³(52日間)となっております。(図-6参照)

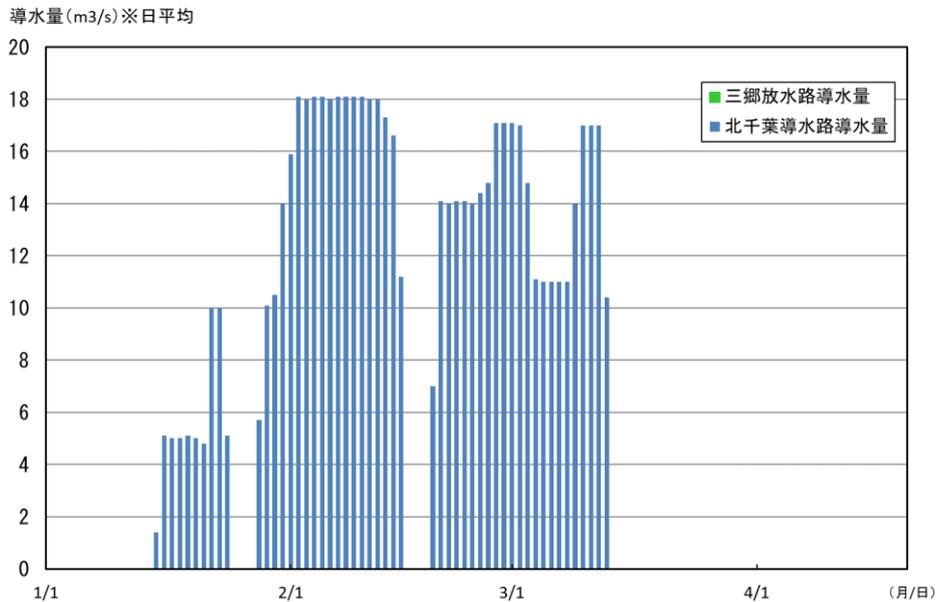


図-6 令和3年北千葉導水路の運用状況(令和3年4月19日0時まで)

6) 渡良瀬貯水池の現状

渡良瀬貯水池は水質改善のため、平成9年から利根川の流況を見ながら「干し上げ」を行っています。令和3年の干し上げについては、令和2年12月15日より下流に向け補給しつつ水位を下げ、干し上げを実施しました。その後、例年より約1ヶ月半早い2月19日より貯留を開始し、令和3年4月19日0時現在の貯水量は、1,737万m³、貯水率は66%(貯水量の平均値(平成4年~令和2年)に対する割合は104%)となっております。(図-7)

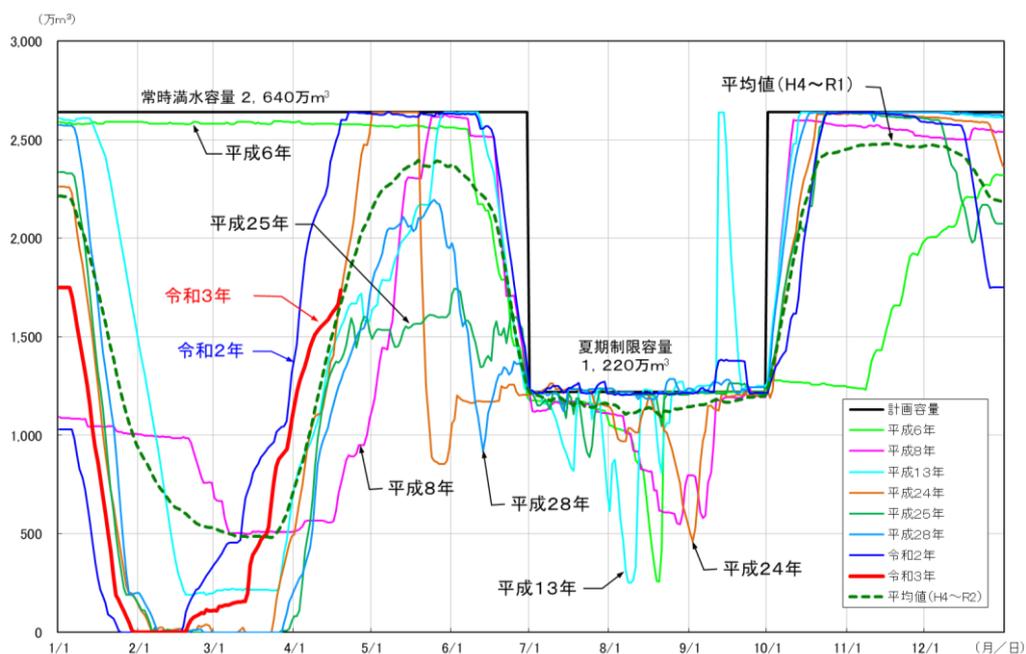


図-7 渡良瀬貯水池貯水量図(令和3年4月19日0時現在)

(2) 鬼怒川

1) 佐貫地点上流域平均降水量の状況（令和3年4月19日0時までの降水量）

《令和2年》

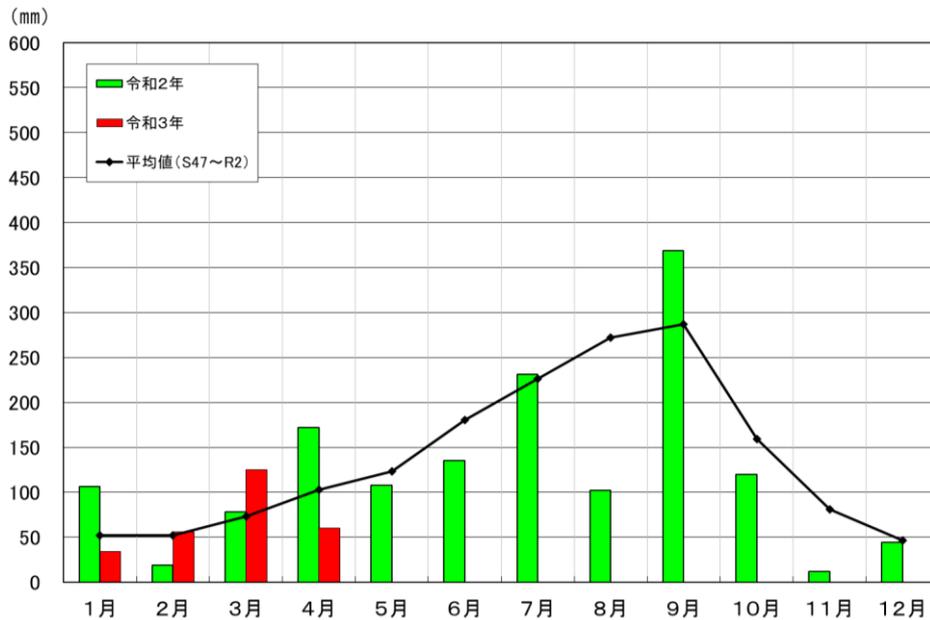
9月のまとまった降雨等により369mm（平均値287mm）と平均値を上回りましたが、10月、11月は平均値を下回る降水量でした。12月は平均値並の降雨となりました。

《令和3年》

令和3年に入り、1月は平均値を下回りましたが、2月は平均値並の降水量となり、3月は平均値を上回る降水量となりました。

4月の降水量は19日0時までの累加で60mmとなっています。（4月の降水量の平均値は103mm）

（図－8、表－4参照）



図－8 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（令和3年4月19日0時まで）

表－4 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量[mm]（令和3年4月19日0時まで）

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301	
平成5年	91	84	20	17	89	226	321	307	280	112	209	52	1,808	
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583	利根川・鬼怒川夏渇水
平成7年	62	14	170	99	216	337	167	113	177	57	65	68	1,545	
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140	利根川冬渇水 利根川・鬼怒川夏渇水
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980	利根川・鬼怒川夏渇水
平成24年	40	47	101	111	314	276	227	109	354	113	71	75	1,838	利根川夏渇水
平成25年	45	35	14	147	46	171	177	172	411	301	29	66	1,614	鬼怒川夏渇水
平成28年	66	35	31	109	63	138	94	401	306	49	53	47	1,392	鬼怒川夏渇水
平成29年	91	45	38	74	93	95	242	337	200	392	18	62	1,687	利根川・鬼怒川夏渇水
平成30年	73	19	174	74	132	94	240	330	328	107	31	51	1,653	鬼怒川夏渇水
令和2年	106	19	78	172	108	135	231	102	369	120	12	44	1,496	-
平均値(S47~R2)	52	52	73	103	123	180	226	272	287	159	81	46	1,654	
令和3年	34	56	125	60	-	-	-	-	-	-	-	-	275	-
平均値に対する割合(%)	65	108	171	58	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-

■：鬼怒川取水制限実施月（一時緩和含む）※佐貫地点上流域面積：940km2

2) 鬼怒川上流4ダムの貯水状況等（令和3年4月19日0時現在）

《令和2年》

9月のまとまった降雨等により平年並の貯留量となりましたが、10月、11月の少雨の影響のため平均値を下回る貯水量で推移しました。

《令和3年》

令和3年に入ってから平均値を下回る貯水量で推移していましたが、3月の降雨及び融雪により4月中旬を前に鬼怒川4ダムの合計貯水量が満水に達しました。

令和3年4月19日0時の貯水量は2億4,284万 m^3 、貯水率96%（貯水量の平均値（平成26年～平成27年、令和元年、令和2年）に対する割合は109%）となっています。

（表-5、図-9参照）

表-5 鬼怒川上流4ダム貯水量

令和3年4月19日0時現在					
ダム名	有効容量 (万 m^3)	前日貯水量 万 m^3	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)
五十里ダム	3,200	2,593	2,612	82	-19
川俣ダム	7,310	6,976	7,009	96	-33
川治ダム	7,600	7,440	7,439	98	1
湯西川ダム	7,200	7,228	7,224	100	4
4ダム合計	25,310	24,237	24,284	96	-47
4ダム合計の平均値 (平成4年～令和元年)			22,329	(平均値に対する割合109%)	

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

※データは湯西川ダムが完成して4ダムで運用している平成25年から集計し、平均値は渇水年であった平成25年、平成28年、平成29年及び平成30年は除いています。

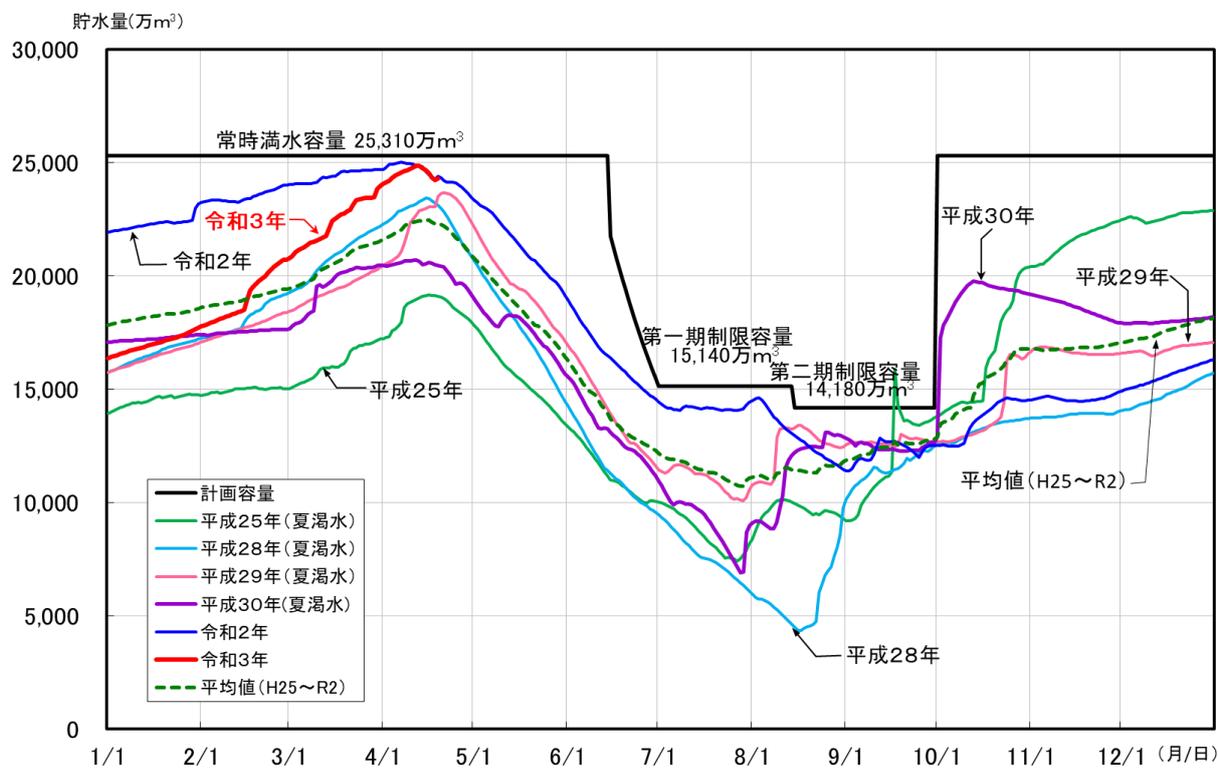


図-9 鬼怒川上流4ダム貯水容量図（令和3年4月19日0時現在）

(3) 荒川水系

1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和3年4月19日0時までの降水量）

《令和2年》

令和2年10月は台風14号等の影響により209mm（平均値161mm）と平年を上回りましたが、その後11月、12月は平均値を大きく下回る降水量でした。

《令和3年》

1月、2月は平均値並みの降雨でしたが、3月は110mmと平均値（71mm）を上回りました。

4月の降水量は、19日0時までの累加で43mmとなっています。（4月の降水量の平均値は96mm）

（図-10、表-7参照）

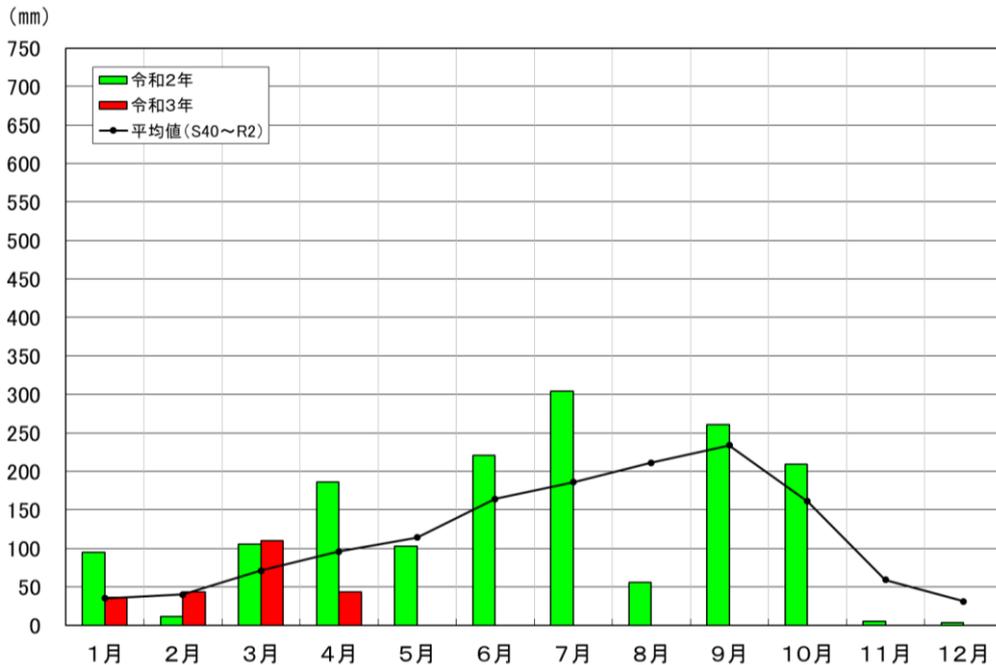


図-10 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和3年4月19日0時まで）

表-7 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和3年4月19日0時まで）

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏渇水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏渇水
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	利根川夏渇水
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,437	荒川夏渇水
令和2年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559	-
平均値(S40-R2)	35	40	71	96	114	164	186	211	234	161	59	31	1,402	-
令和3年	36	43	110	43	-	-	-	-	-	-	-	-	232	-
平均値に対する割合(%)	103	108	155	45	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-

※■：荒川取水制限実施月（一時緩和含む） 秋ヶ瀬地点上流域面積：2.021km²

2) 荒川4ダムの貯水状況等（令和3年4月19日0時現在）

《令和2年》

令和2年11月、12月の少雨の影響により平均値を下回る貯水量で推移しました。

《令和3年》

令和3年に入ってから平均値を下回る貯水量で推移し、令和3年4月19日0時の貯水量は8,421万 m^3 、貯水率58%（貯水量の平均値（平成22年～令和2年）に対する割合は84%）となっています。（表-8、図-11参照）

表-8 荒川4ダム貯水量（令和3年4月19日0時現在）

ダム名	有効容量 (万 m^3)	前日貯水量 万 m^3	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)
二瀬ダム	2,000	915	950	48	-35
滝沢ダム	5,800	3,153	3,162	55	-9
浦山ダム	5,600	3,478	3,485	62	-7
荒川貯水池	1,020	758	824	81	-66
4ダム合計	14,420	8,304	8,421	58	-117
4ダム合計の平均値 (平成4年～令和元年)			10,084	(平均値に対する割合84%)	

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

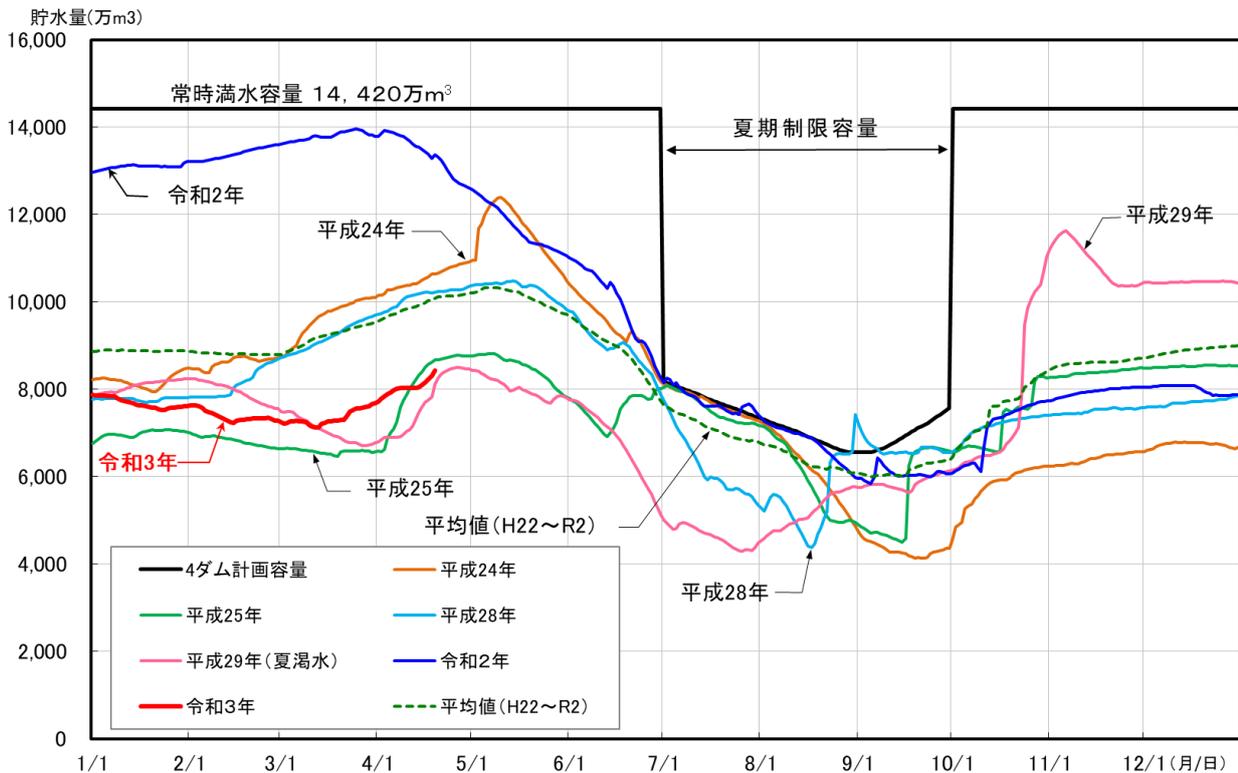
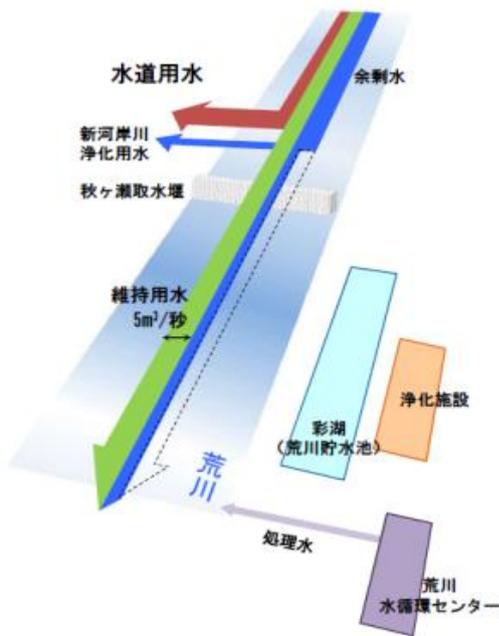


図-11 荒川4ダム貯水量図（令和3年4月19日0時現在）

3) 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

荒川本川流量で水道用水が取水できるとき

- ・堰上流で必要な水量を取水します。
- ・余剰水は堰下流へ放流するとともに、新河岸川への浄化用水として利用します。
- ・彩湖の貯水量が少ない場合には彩湖に取水することもあります。



荒川本川流量で水が足りないとき

- 水道用水を確保するため、
- ・彩湖(荒川貯水池)から堰の上流に補給します。
- ・下水処理水を浄化施設に導水して浄化し、堰の下流に放流します。これにより、秋ヶ瀬取水堰は下流への放流量を減らすことが可能となり、結果として堰上流で水道用水の取水が可能となります。

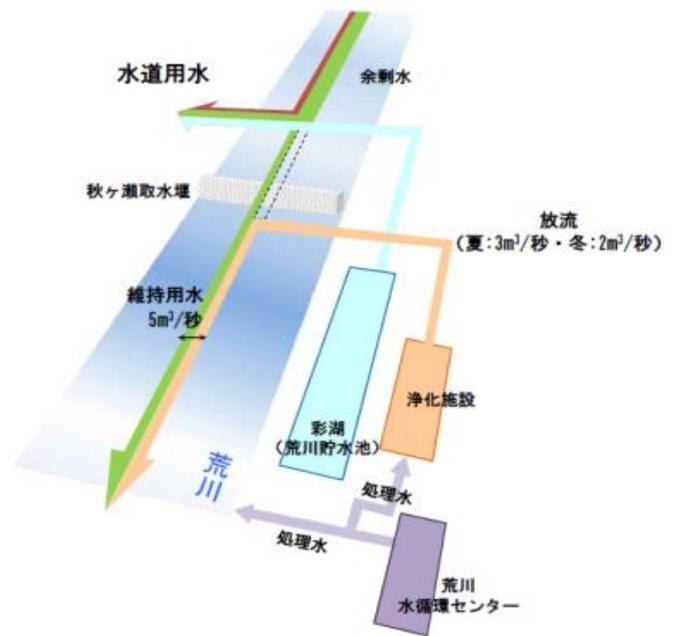


図-12 荒川貯水池及び浄化施設による利水補給

令和3年1月1日から4月19日までに約955万 m^3 (59日間)の補給をしています。(図-13参照)

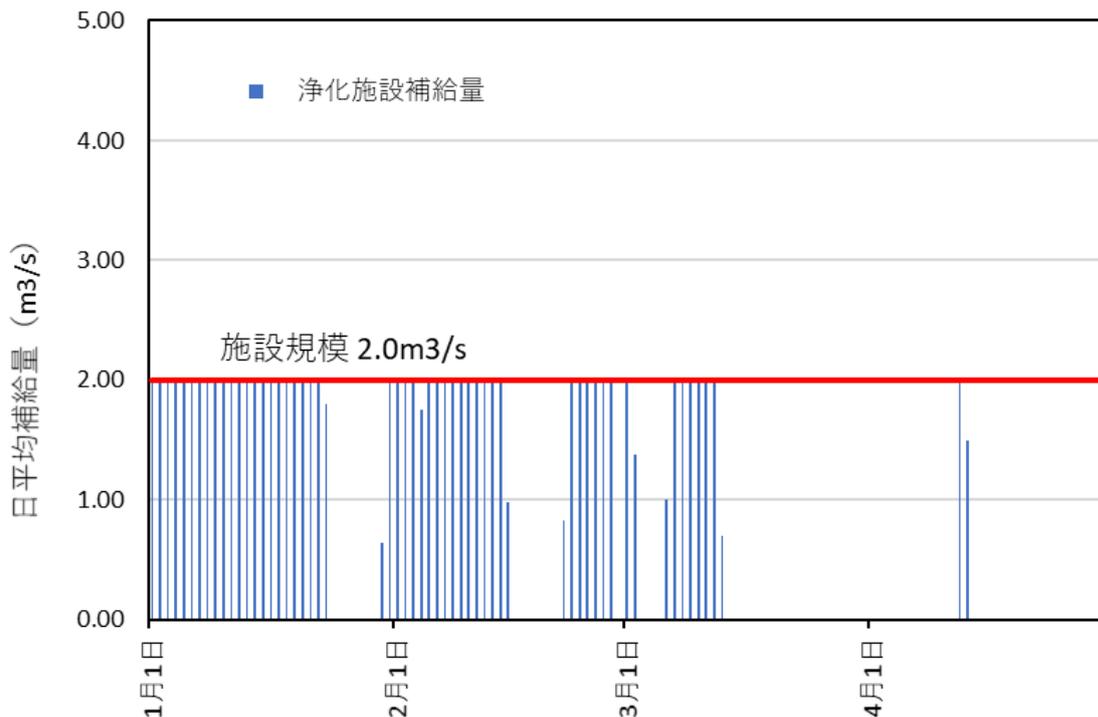


図-13 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

(4) 多摩川水系

1) 小河内ダム地点上流域平均降水量の状況 (令和3年4月19日7時までの降水量)

令和3年の小河内ダム地点上流域における降水量は、1月、3月は概ね平均値並の降水量となっており、2月は42mmと平均値(56mm)を下回っております。4月の降水量は、19日7時までの累加で39mm(4月の降水量の平均値は110mm)となっております。(図-14参照)

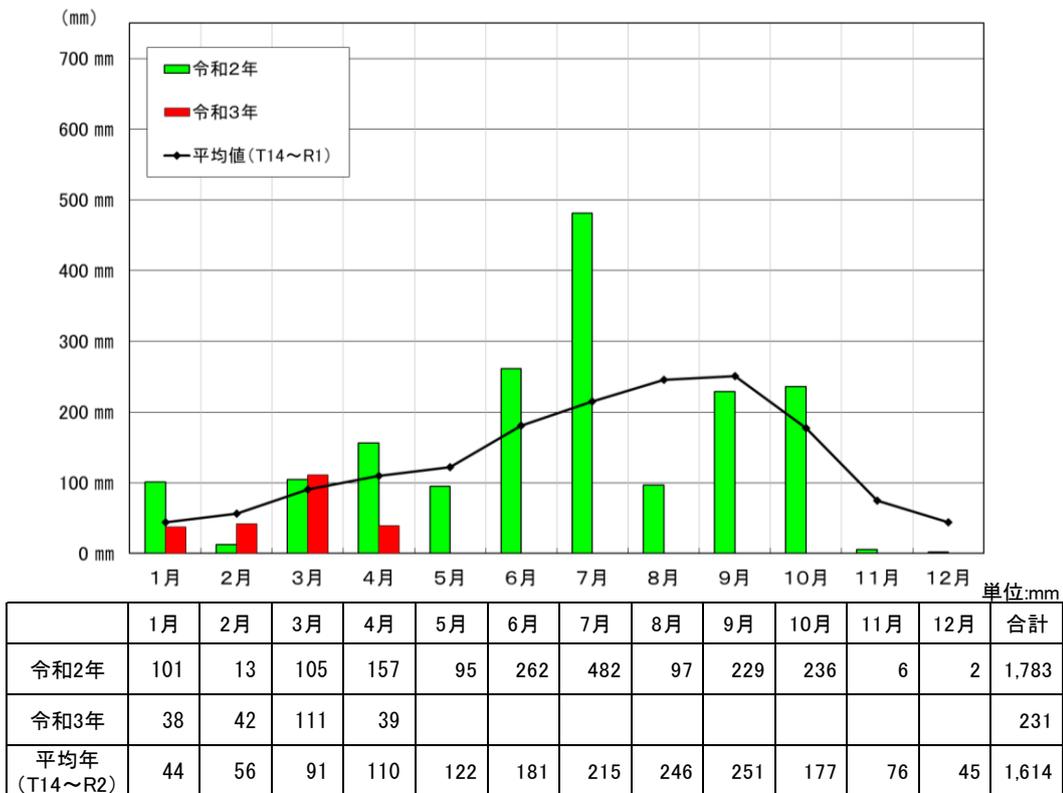


図-14 多摩川小河内ダム地点上流域平均降水量 (令和3年4月19日7時までの降水量)

2) 小河内ダムの貯水状況

4月19日7時現在の貯水量は、1億4,709万m³となっております。(図-15参照)

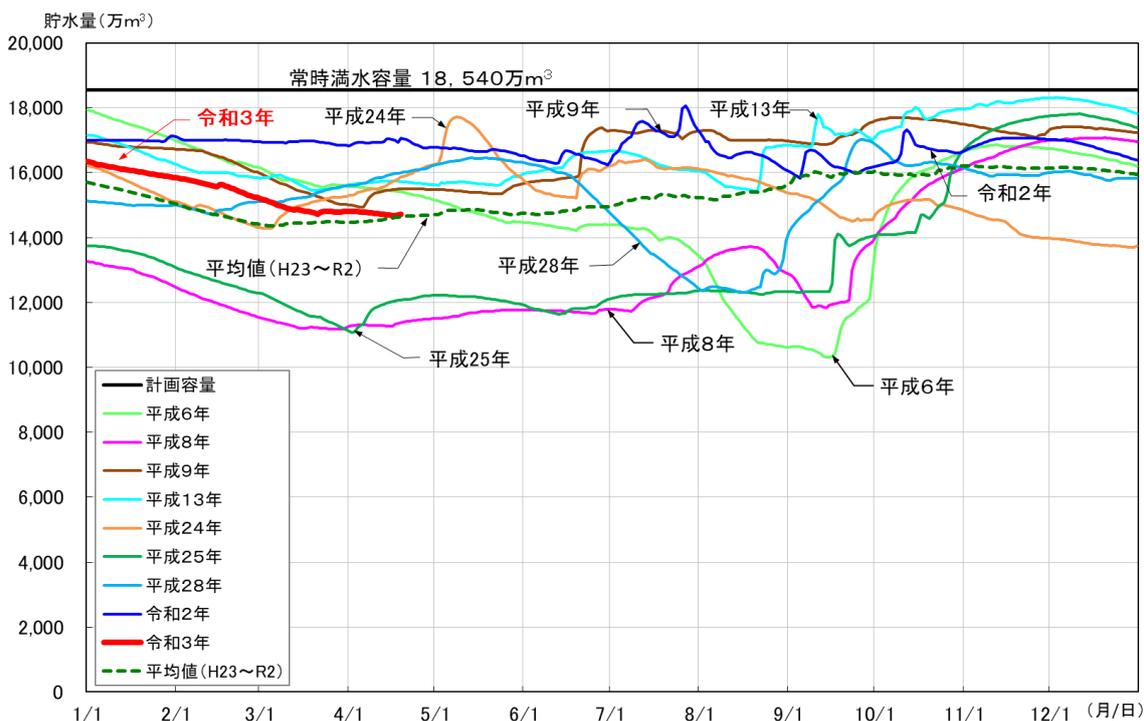


図-15 多摩川小河内ダム貯水容量図 (令和3年4月19日7時現在)

2. 今後の見通し

(1) 気象予報

令和3年4月15日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(4月17日から5月16日までの天候見通し)によると、向こう1か月の気温は「高い」の確率が40%、降水量は「少ない」の確率が40%となっています。

また、3月24日気象庁発表の3か月予報(4月から6月までの天候見通し)によると、向こう3か月の気温は「高い」の確率が50%、降水量は「平年並」及び「多い」の確率が40%となっています。

1か月予報(令和3年4月15日発表)

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 04/17~05/16	30 30 40
		1週目 04/17~04/23	20 40 40
		2週目 04/24~04/30	40 40 20
		3~4週目 05/01~05/14	20 40 40
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 04/17~05/16	40 30 30
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 04/17~05/16	20 40 40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3か月予報(令和3年3月24日発表)

気温、降水量の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	04月~06月	20 30 50
		04月	20 40 40
		05月	20 40 40
		06月	20 40 40
降水量	関東甲信地方	04月~06月	20 40 40
		04月	30 40 30
		05月	30 40 30
		06月	20 40 40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

(2) ダム・貯水池の工事に伴う貯留制限

令和3年度は、貯水池の維持管理、ゲート設備の維持修繕工事等を行うことを検討しています。

利根川上流9ダムのうち、ハツ場ダムは、貯水池内に堆積した土砂の掘削工事を実施するため、10月から来年2月末まで貯水量を制限した運用を検討しています。菌原ダムは、ゲート設備の維持修繕に必要な工事を実施するため10月から来年2月末まで貯水量を制限した運用を検討しています。

鬼怒川4ダムのうち、川治ダム及び五十里ダムについては、貯水池内に堆積した土砂の掘削工事、また湯西川ダムについては、堤体補修工事を実施するため10月から12月末まで貯水量を制限した運用を検討しています。

荒川4ダムのうち、二瀬ダムは、令和元年の台風19号でダム貯水池内に堆積した土砂の掘削工事を引き続き実施するため、10月から来年3月末まで貯水量を制限した運用を検討しています。浦山ダムは、ゲート設備の整備工事を実施するため、来年1月下旬から3月上旬まで貯水量を制限した運用を検討しています。

なお、工事に伴う貯留制限については、1日でも早く貯留ができるように適切な工程管理に努めて参ります。

